



外国出張報告書

平成 26 年 7 月 3 日

1. 出張国名 ナイジェリア
2. 出張月 平成 25 年 10～11 月
3. 出張目的 IITA における共同研究の推進状況の確認及び調整：B

4. 成果の概要

国際熱帯農業研究所と実施しているヤムおよびササゲに関する共同研究（JIRCAS 熱帯作物開発プロ）の進捗状況の確認および調整のため、ナイジェリア国イバダンに出張した。今年度は、5 年プロジェクトの中間年度である。ササゲは、マルチロケーション試験や遺伝資源評価試験など大きな現地圃場試験が昨年度までにほぼ終了し、今年度からは、①イバダン近郊の市場調査、②これまでに収集した試料の分析、③肥料反応性試験、④市場流通品種の特性評価に絞り込んだ活動をイバダンにおいて実施している。一方、ヤムは日本国内におけるゲノムおよび DNA マーカー解析が進捗し、①遺伝資源の表現形質調査、②早晩性の品種間差の作物学的評価、③遺伝解析用 F1 集団の育成など、現地における圃場試験の割合が増えている。今年度は、プロジェクト前半期から後半期への移行期であり、活動規模・重点的に推進すべき活動内容においてフェーズチェンジを実施する年度であるが、年度当初に関係者で打ち合わせた計画に沿って、順調に進捗していることを確認した。